多様化する住民ニーズへの対応について

角張　大治

〔質問〕多様化する住民ニーズに対応することが、行政事務の非効率化や市民福祉の低減につながる可能性もあるが、この点をどう考えるか。

〔答弁〕【市長】必要性や費用対効果、財政状況等を総合的に勘案し、優先順位をつけて必要な政策に取り組んでいく。

住民ニーズの多様化に職員が対応できるよう、業務の効率化やデジタル技術の活用を推進し、行政事務の効率化・合理化を推進していく。

〔質問〕変化・多様化する住民ニーズをどのように把握しているか。

また、優先すべき政策をどのように結び付けていくのか伺う。

〔答弁〕【市長】住民ニーズの把握については、行政資料の活用、市民・団体・自治会等からの要望、地区懇談会での意見、アンケート・ヒアリング調査など、さまざまな形で把握している。

今後も必要性、費用対効果、財政状況等、総合的に勘案し取り組んでいく。

◎外部人材の管理職、特別職への登用について

〔質問〕外部人材の選定基準やプロセスを伺う。

〔答弁〕【市長】それぞれの分野に通じた行政経験を有する人材であることが最も重要と考える。国や県から推薦・派遣していただき、登用することが最も効果的であると考える。

〔質問〕外部人材を登用することにより、市民福祉の向上に寄与する点を伺う。

〔答弁〕【市長】さまざまな分野で活躍してきた経歴の方が多く、施策の推進を図ることができる。また、組織の活性化につながることから、さまざまな団体の方と接することは、職員にとっても非常に有意義な取り組みと考える。

〔質問〕外部人材の登用において、任期付きジョブ型雇用（重点業務の遂行を目的とし、職務内容や任期を明確に定めた雇用形態）を検討したか伺う。

〔答弁〕【市長】候補者の選定は難しく、行政経験者を国や県から推薦・派遣してもらうことが最も効果的と考えることから、任期付きのジョブ型雇用は検討していない。

【その他の質問】

◎市職員の労働状況について

みやぎ蔵王白石スキー場について

佐藤　秀行

〔質問〕第2リフトは、平成11年にペアリフトとして設置されてから26年が経過している。安全・安心のためにもセーフティーバーの設置も含めて、早期に架け替えを検討すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】スキーヤーの安全面を考慮し、セーフティーバーの設置が必要であると考える。併せて、搬器に風による揺れ防止のためのウエイトを新たに設置する。

〔質問〕市内のほとんどの小学校でスキー教室を実施しており、スキー場が所有するバスで無償で送迎を行なっている。しかし、人数が多い小学校では、学校独自でバス会社等にバスを依頼しており、支払う金額は全て保護者負担になっている。市として補助ができないものか伺う。

〔答弁〕【商工観光課長】他の人数の多い小学校では、スキー教室を複数の日程で行い、人数を分散させ、スキー場のバスでの送迎を行なっていると聞いている。まずは、分散日程などの工夫により、スキー教室を実施できないか、学校側とスキー場で相談するようお願いしている。

◎米寿祝いの賀状の贈呈について

〔質問〕市長は以前、全対象者にお渡ししたい思いがあるので、自治会連合会や民生委員・児童委員などのご意見を賜りながら前向きに検討すると答弁している。その後の検討結果について伺う。

〔答弁〕【市長】市の発展のため、長年ご尽力された高齢者の皆さまに敬意と感謝の意を表したいという思いから、全対象者にお渡ししたい。民生委員児童委員協議会の理事等と協議し了承をいただいたことから、現在、賀状の贈呈について、全対象者にお渡しすることで準備を進めている。

◎学びの多様化学校について

〔質問〕児童・生徒の学校生活の様子について伺う。

〔答弁〕【教育部長】多くの児童・生徒が以前より安定して通えるようになっている。学校が安心できる場所であり、子どもたちの成長を支える上で重要な役割を果たしていると実感している。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。